



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,770	16.9	1,572	28.0	1,640	27.1	1,045	33.7
2019年3月期第3四半期	29,808	10.8	2,184	17.7	2,249	12.4	1,578	16.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,135百万円 (1.3%) 2019年3月期第3四半期 1,120百万円 (37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	164.23	
2019年3月期第3四半期	247.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,440	18,079	57.5
2019年3月期	33,482	17,428	52.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,079百万円 2019年3月期 17,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		61.00	76.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				47.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.2	1,900	26.9	2,000	26.2	1,300	28.0	204.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,615,070 株	2019年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	247,448 株	2019年3月期	247,405 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,367,655 株	2019年3月期3Q	6,367,669 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益と雇用情勢の改善により緩やかな回復基調が続くとともに、中国経済及び米中貿易摩擦においても落ち着きが見えはじめてきました。しかしながら、EU離脱問題や消費税増税後の影響等、依然として先行き不透明感を残す状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は24,770百万円（前年同期比16.9%減）、営業利益は1,572百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は1,640百万円（前年同期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,045百万円（前年同期比33.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設機械事業

建設機械事業におきましては、災害復旧工事が一巡したことで需要の低迷が見られるとともに、消費税増税にもなう駆け込み需要の反動減による影響が見られる中、販売部門においては利益率の高い商品の販売や、好調が続く沖縄地区を中心に既存取引先の需要の掘り起こしに努めるとともに、レンタル部門においても公共工事需要の取り込みに注力してまいりました。しかしながら、建設機械の納入時期が一部後ろ倒しになったことにより、売上高は9,507百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益は1,091百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

②産業機器事業

産業機器事業におきましては、半導体業界の一部において低調に推移する分野がある一方で、ロボット業界においては在庫調整に底打ち感が見えはじめてきた中、新商品の開拓と提案営業の強化に努めるとともに、継続して生産部品や消耗部品の拡販にも努めてまいりました。しかしながら、電子部品・半導体業界においてスマートフォン需要の落ち込みや、世界経済の先行き不透明感の影響等による設備投資抑制の動きが継続したことから、売上高は14,931百万円（前年同期比23.4%減）、セグメント利益は760百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

③砕石事業

砕石事業におきましては、季節的な変動はあるものの、事業を展開する地域においては官需、民需ともに回復基調で推移する中、民間への営業強化と中小規模の工事受注に向けた取り組みを強化するとともに、採算性の向上にも努めてまいりました。この結果、売上高は331百万円（前年同期比14.1%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期比196.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度に比べ2,042百万円減少（6.1%減）し、31,440百万円となりました。増減の主な内容は、電子記録債権が470百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,704百万円、商品及び製品が830百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ2,693百万円減少（16.8%減）し、13,360百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,877百万円、未払法人税等が517百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ651百万円増加（3.7%増）し、18,079百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が561百万円、その他有価証券評価差額金が151百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.5%と前連結会計年度に比べ5.4ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,413	4,577
受取手形及び売掛金	10,782	9,078
電子記録債権	2,085	2,556
貸貸料等未収入金	717	667
商品及び製品	4,271	3,440
仕掛品	130	73
原材料及び貯蔵品	13	10
その他	784	550
貸倒引当金	△300	△417
流動資産合計	22,898	20,537
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	5,847	5,937
その他（純額）	2,526	2,617
有形固定資産合計	8,374	8,554
無形固定資産		
のれん	55	41
その他	38	40
無形固定資産合計	94	82
投資その他の資産		
投資有価証券	1,784	1,957
その他	352	323
貸倒引当金	△22	△15
投資その他の資産合計	2,114	2,265
固定資産合計	10,582	10,902
繰延資産		
開発費	1	0
繰延資産合計	1	0
資産合計	33,482	31,440

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,300	9,423
短期借入金	1,031	950
1年内返済予定の長期借入金	216	116
リース債務	681	547
未払法人税等	540	23
賞与引当金	324	147
役員賞与引当金	69	—
割賦利益繰延	270	215
その他	574	785
流動負債合計	15,008	12,207
固定負債		
長期借入金	66	16
その他の引当金	399	405
退職給付に係る負債	354	351
その他	224	378
固定負債合計	1,045	1,152
負債合計	16,053	13,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,015	1,015
利益剰余金	14,756	15,318
自己株式	△231	△231
株主資本合計	16,722	17,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621	773
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	85	22
その他の包括利益累計額合計	706	795
純資産合計	17,428	18,079
負債純資産合計	33,482	31,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	29,808	24,770
売上原価	24,842	20,358
差引売上総利益	4,966	4,411
割賦販売未実現利益戻入額	139	103
割賦販売未実現利益繰入額	74	48
売上総利益	5,031	4,466
販売費及び一般管理費	2,847	2,893
営業利益	2,184	1,572
営業外収益		
受取利息	19	10
受取配当金	24	25
持分法による投資利益	23	8
貸倒引当金戻入額	10	20
その他	41	31
営業外収益合計	118	96
営業外費用		
支払利息	21	15
為替差損	31	12
その他	0	0
営業外費用合計	53	28
経常利益	2,249	1,640
特別利益		
固定資産売却益	110	0
投資有価証券売却益	5	25
特別利益合計	116	25
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	—	3
出資金評価損	6	—
特別損失合計	8	5
税金等調整前四半期純利益	2,357	1,660
法人税、住民税及び事業税	653	468
法人税等調整額	125	147
法人税等合計	779	615
四半期純利益	1,578	1,045
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,578	1,045

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,578	1,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	148
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△35	△48
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△10
その他の包括利益合計	△457	89
四半期包括利益	1,120	1,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,120	1,135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,014	19,503	290	29,808	—	29,808
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	22	—	52	△52	—
計	10,044	19,525	290	29,861	△52	29,808
セグメント利益	1,259	1,257	7	2,523	△339	2,184

(注) 1 セグメント利益の調整額△339百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,507	14,931	331	24,770	—	24,770
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	27	—	62	△62	—
計	9,542	14,958	331	24,832	△62	24,770
セグメント利益	1,091	760	20	1,872	△299	1,572

(注) 1 セグメント利益の調整額△299百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。